

① はじめのおいのり、または、さんび (なるべくみんなが知っているもの)

② 礼拝説教に関係した短いお話し ・ルカ32章32節～43節

イエス様は、何も悪い事をしていなかったのに、十字架にかけられる事になりました。とても悪い事をした人が2人も、イエス様の隣に十字架にかけられました。



イエス様が十字架にかかられると、多くの人は、イエス様をばかにしました。「お前が、救い主なら、そこから降りてきて、自分を救ってみろ。」イエス様は、今までお祈りを通して、神様の奇跡を行ってきました。だから、お祈りして、十字架から降りる事も、ばかにする人達を全部やっつける事もできました。しかし、そのようにはされず、別のお祈りをされました。「天のお父様、彼らを赦して下さい、彼らは何をしているのか分からないのです。」悪い事をして十字架にかけられた1人の人は、周りの人達と同じようにイエス様の事をばかにしました。しかし、イエス様のお祈りを聞いていた、もう1人の人は、「おれたちは、悪い事をして十字架にかけられているが、イエス様、あなたは違う。何も悪い事をしていない。あなたが、天国で王様となれる時には、ちょっとでいいので、私に恵みを施して下さい。」と言いました。すると、イエス様は、「あなたは、今日、わたしと、天国にいる。」と言われました。

イエス様は、私達の罪を赦し、天国の祝福を与える為に、十字架にかかれ、ばかにされても、降りようとされなかったのです。何故なら、私達の事を深く、深く愛されていたからです。私達は、イエス様を信じましょう。また、私たちも、ばかにしたり、いじめる人の事を赦し、その人の為に、お祈りする人になりましょう。

③ 聖書の言葉を2回告白しよう。

「父よ。彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか

自分でわからないのです。」ルカ23の34

④ チャレンジ

あなたは、誰かのことを、怒り続けたり、赦せないでいる人はいま

せんか。その人を赦し、その人の為にもお祈りしましょう。

⑤ おいのりしよう

神さま、私は、_____さんのことを

いかり、にくんでいました。私の罪を赦して下さい。

今、私は、_____さんの事をゆるします。

神様、_____さんも、イエスさまを信じて

幸せになれるように、してください。

イエスさまの お名前によって、祈ります。アーメン。